

1. 雪どけ水を生かした越後平野の稲作

(1) 資料 I を見て、新潟県の農業の特色を挙げてみよう。

(例) 米の農業産出額が半分以上を占めている。

(2) 地図帳を見て、北陸で水田が多い平野を挙げてみよう。

越後平野、富山平野、金沢平野、福井平野 など

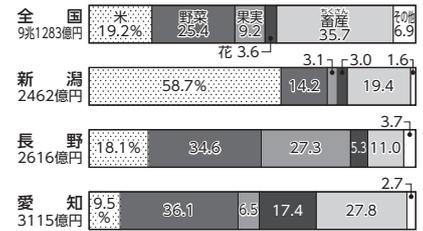
(3) 北陸で稲作が盛んになった背景をまとめてみよう。

(例) ・排水路の整備や干拓が進んだことで洪水が減り、農地が整備された。
・コシヒカリなどの銘柄米を開発した。

(4) 米を使った食品工業の製品には、どのようなものがあるだろうか。

米菓、餅、日本酒 など

資料 I



2. 発達した地場産業

(1) 次の①～⑤にあてはまる語句を記入し、「地場産業」についてまとめてみよう。

地場産業	古くから受け継がれてきた(① 技術)や、地元で採れる(② 原材料)を生かし、地域と密接に結び付いて発達してきた産業
伝統産業	織物や漆器、陶磁器など、現代の生活の中でも使われる(③ 伝統的工芸品)を作る産業
共通する特色	(④ 冬)の期間、屋内で作業できる(⑤ 副業)でつちかわれてきた技術が土台になっている

(2) 伝統産業以外で、北陸の地場産業にはどのようなものがあるか、地図帳から調べてみよう。

燕市の洋食器、鯖江市の眼鏡枠、射水市のアルミサッシ など

資料 II



3. 雪どけ水を生かした工業と暮らし

富山県でアルミサッシの生産が盛んになったのはなぜだろうか。

(例) ・地場産業である銅器の製造技術があったため。
・雪どけ水を利用して、水力発電所から豊富な電力を得られたため。

本時のまとめ

◆ 北陸で地場産業が発達した理由について、説明しよう。

(例) 北陸は冬の期間雪に覆われる水田単作地帯であるため、冬の間には工芸品などを作る副業が始まり、そこでつちかわれた技術を土台に、伝統的工芸品の生産や金属加工、眼鏡枠作りなどの地場産業が発達した。